



議会だより



議会だよりの「議」のつく
りのぶぶんの「我」がむず
かしかったのですが、が
んばりました。はじめて
書いたのできんちようし
ました。でもまたやりた
い気がしました。

題字：神谷愛
(渡慶次小学校2年)

第27回 すりてい語やびらしまくとうば



主な目次

◎一般質問……………P4～15



しまくとうばで演じる子どもたち

平成30年 第473回 定例会 議決結果 平成30年6月12日～20日

件 名	議 決 結 果
基本構想「読谷村ゆたさむらビジョン」について	可 決
平成30年度読谷村一般会計補正予算（第2号）	可 決
平成30年度読谷村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
平成30年度読谷村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可 決
平成30年度読谷村下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可 決
読谷村税条例等の一部を改正する条例	可 決
読谷村農村女性の家設置及び管理に関する条例を廃止する条例	可 決
読谷村農林水産物加工センターの設置及び管理に関する条例	可 決
物品供給（スポーツコンベンション誘致促進事業：設備等強化事業）契約について	可 決
平成30年度（仮称）読谷村パークゴルフ場建築工事請負契約について	可 決
平成29年度読谷村繰越明許費繰越計算書（一般会計）について	報 告
平成29年度読谷村水道事業会計予算繰越報告について	報 告
平成30年度沖縄県町村土地開発公社事業計画及び予算の報告について	報 告
議会活性特別委員会調査報告	報 告
基本構想「読谷村ゆたさむらビジョン」についてに関する付帯決議	可 決
米軍嘉手納基地所属F-15戦闘機の墜落事故に対する抗議決議	可 決
米軍嘉手納基地所属F-15戦闘機の墜落事故に対する意見書	可 決

基本構想「読谷村ゆたさむらビジョン」審査特別委員会の報告！

基本構想「読谷村ゆたさむらビジョン」審査特別委員会は平成30年4月24日開催の第472回臨時会において、付託された議案第28号基本構想「読谷村ゆたさむらビジョン」について審査した。その結果は次の通りである。

今回の総合計画は第4次総合計画（H20年度～H29年度）の終了に伴うもので「第5次基本構想」になるが、地方自治法の改正により、総合計画の策定は地方公共団体の任意となり、今回は読谷村基本条例に基づく、読谷村自らの意思による初の本基本構想であることから「読谷村ゆたさむらビジョン」とした。

よって今回の総合計画の新体系は2層構造となり、10年基本構想が「読谷村ゆたさむらビジョン」となり、基本計画（前、後期5年）と実施計画に相当するものが「読谷村ゆたさむら実行プラン（5年）」となっている。

主なるポイントとしては表題の「いちゅいゆんたんざ」の意味は「互いに勢い起ち黄金花咲さ」と云うことである。

また、包括的コミュニティづくりの推進については、自治会組織と行政組織の地域における二重構造をいかに整理して地域力を形成するかが重要なポイントになった。

更に地域別基本方向については読谷村を大きく中央地域、北部地域、南部地域、海岸地域、森林地域の新たな5つの区分に分けてある。その背景には自然や景観そして公共施設基盤等の配置に考慮した土地利用のあるべき姿を示したものである。

1. 基本施策

（基本目標との整合性）

施策の大綱

- 1) 風水フシトウ シナティユチュトウクとして悠々と暮らさ （自然と調和した潤いのあるむらづくり）
- 2) ちむ清らさチュ ヒトウ ヌマナ スダあるひとの学び育ち （夢を育み生涯輝けるひとづくり）
- 3) 御真人ウマンチュ ウラ フクティガンジュウヌシマや笑い誇て健康の村 （未来が輝くハツラツむらづくり）
- 4) 互いに勢タゲ イチュ ウク クガニハナサカ起ち黄金花咲さ （人集い活力と魅力あふれるむらづくり）
- 5) うち揃スリティチュク ヘイワヌユて創らな平和の世 （平和で平等な協働のむらづくり）

ゆたさある風水

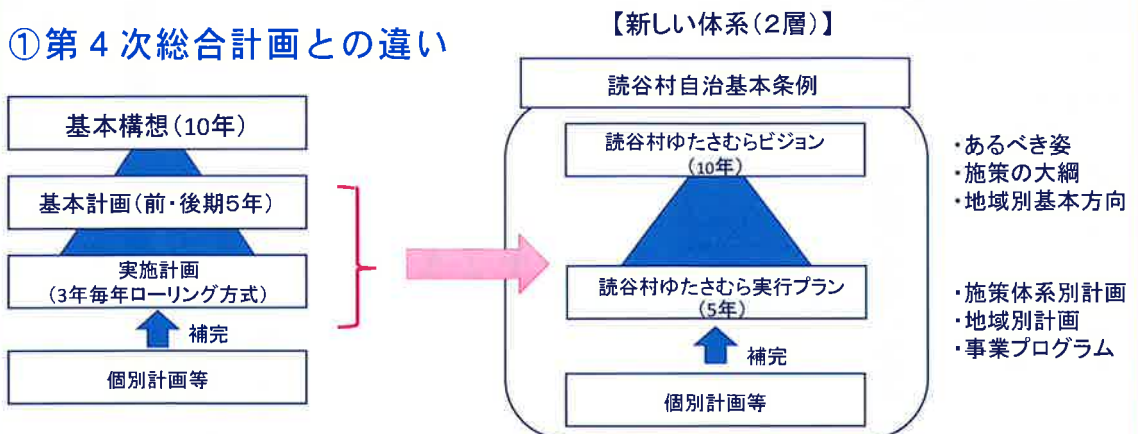
優る肝心

優る肝心

咲き誇る文化ど

思い合ち

読谷村ゆたさむらビジョンとは



Q 村政を問う!! 一般質問



栄 ちかえ
上地 うえ

においては、駐車場の問題や牛導線の安全確保の問題もあり、引き続き闘牛が開催できる場所の選定をしていく。

おたふくかぜワクチン助成は県の動向をみて検討

問 県外で何市町村がおたふくかぜワクチンの助成をしているか

答 15市町村である。

問 助成の内容は

答 予防接種の単価は約8千円だが全額公費負担は8市町村で他の市町村は千円から3千円は自己負担である。

闘牛場(ドーム型多目的広場)について

問 伝統的な大衆娯楽文化として観光振興や地域活性化に寄与すると考えるが

答 闘牛の魅力については認識しているが、当該施設の建設予定、計画はない。しかし読谷まつり闘牛大会



鹿児島県伊仙町のなくさみ館、多目的施設

読谷飛行場の農用地の貸付は委員会を開催して協議中

問 貸付け時期は

答 読谷中部地区土地改良事業の本換地終了後速やかに貸付していく。

問 旧飛行場が平成18年に返還され、正念場を迎えていると思うが村長の見解は

答 役場も農産生産法人と一緒にともに汗を流して果実が得られるよう努力する。

急性期病院の設置

問 現状はどうなっているか

答 沖縄県医療政策課と中部医療圏域における病床数等について協議を重ねている。

問 事業化に向けたスケジュールは

答 県や医師会との調整があり、スケジュールについては明確な部分は示されない。

問 平成29年3月に策定した中部圏域における必要病床数は

答 4千9百92床となる見込みである。内容については高度急性期の病床が188床の増、急性期が233床の減、回復期が90床の増という形になっている。

問 後期高齢者医療保険料が前年に比べて3千880円増の年額6万7千725円になっているのはなぜか

答 所得割額の軽減特別措置の廃止と保険料上限額の

引き上げ、被保険者の一人当りの所得額の上昇が挙げられる。

問 保険料を抑える方法は

答 高齢者の健康づくり、重複受診、頻回受診に対する指導、ジェネリック医薬品の推奨により医療費支出を抑えることが大事である。

平成27年4月に開館した未来児童館の現状

問 開所時からの登録児童数と過去3年の年間平均利用実績は

答 登録児童数は1千139人で、年間の平均利用実績は1万1千171人である。

問 収入実績とランニングコストは

答 利用料の徴収はなく、ランニングコストは年間1千百80万円である。

問 課題として何か

答 未就学児童の親子で活動できる事業をどう展開するかが課題である。



新垣 しゅんしゅ
あらかき

読谷警察署の実現を

問 日本一人口の多い村をより安心安全にするために読谷警察署を実現すべき

答 建てかえ予定なし。今後の動向を見守る。

問 14警察署の内、糸満署が一番古く築40年、宜野湾署築39年、名護署38年、石川署37年、本部署36年、嘉手納署築35年、糸満署は平成31年度中には完工。嘉手納署は6番目に古い。実現不可能ではない。新たに何か取り組んだことは

答 現在情報収集をしている。

問 村長の思いを伺いたい

答 災害に強い警察として標高70mである文化センターで機能移転訓練を現実的に行っている。いろいろな意味で取り組んでいく。

地域活性化の充実について

問 いかん活性化を進めていくか

答 各自治会活動の活性化や各種社会教育関係団体の



沖縄市にある新築の急性期病院

活動の支援を図り村民と協働の村づくりを通じた住民自治推進と地域活性化を図る

問 19行政区をいかに活性化させるか

答 包括的なコミュニティを推進し、行政区のあり方は今後詰めていく。

問 数年来大木区でスイカまつりと銘打って賑わいを見せている農産物を絡めた活性化は

答 作物を活用し地域の活性化を考えていく。

問 青年会や各組織体の活性化は

答 読P連、読子連、村婦人会、読青協の4団体役員が連携し一緒に活動して行くとの話し合いがなされた。

しまくとぅばの普及推進について

問 いかに普及推進を図っていくか

答 一括交付金を活用した事業で推進。

問 内容的には

答 明治、大正生れの方々から採録民話集をもとに紙芝居絵本を毎年一刊発刊40

民話採録又DVDにし音を聞きながら絵を見るのもあり25話収録。

問 単語を書いて日本語で訳し説明を付したのは

答 絵本の中でしまくとぅばで表現し、その下に標準語で読み下しをつけている。

問 しまくとぅばなしで現在のまつりは可能か

答 もしなくなると様変わりする状況。

問 今は文化協会が普及推進しているそれだけで良いか

答 継承していく意識を高めることが必要。

問 村民が来庁された時しまくとぅばで迎える習慣を推奨しては

答 今後の課題として受け止める。

問 学校現場での普及の考えは

答 大切な言語文化学校地域教育委員会と一緒に継続的取り組み必要。

問 村長の施政方針にも使

用 しては

答 次年度の施政方針から取り入れたい。



なかもりよし 仲宗盛良

行政区域の設定と行政事務委託の関係を伺う

問 各自治会への加入率が落ちている。実態と対策はどうなっているか

答 平成29年12月現在50%が加入、13年間で9.5%も下落しており、各自治会と連携して加入の促進を行う。

問 自治会への加入及び参加促進の条例設定をする必要はないか

答 行政区域等を定める条例があり、検討していない。

問 指定管理を受けている自治公民館の敷と財産の帰属及び敷地の買い上げを検討すべきではないか

答 14ヶ所が村の財産。敷地の買い上げは庁内で論議したことがない。今後の課題である。

問 近い将来、19区域を主体とした自治会運営に移行すべきと思うが、村の展望を伺いたい

答 これからの大きな課題として、じつくり取り組んで参ります。

地域振興交付金の規則に割合を明示すること

問 規則の中には、3項目に分類されて交付されるようになってきているが、割合を数字で明示する必要はないか

答 交付金のあり方や算定基準の見直しと交付割合の明示も含め検討する。

問 地域振興交付額も8項目に分類されている。支給の根拠をもっと明確に表示できないか

答 庁内で検討します。

教育長職務代理者の報酬位置づけについて

問 教育長職務代理者は教育委員と同額の報酬となっている。役職にみあう報酬の位置づけをすべきである

答 調査研究を行っていく。

国民年金の後納制度活用 督促について

問 後納制度の期限が今年9月30日にせまり、防災無線や街宣車で村内への掘り起こしはできないか

答 防災無線等を活用し、村民への呼びかけを強化して参ります。

問 受給資格期間が25年から10年に短縮され、救済された人数と総金額は

答 受給決定された人数は251人で、575万円となっている。

女性の村民議会開催を求める

問 平成26年6月議会に提案したが、早期の女性議会の実施を求める

答 調査研究をしていく。

新ユンタンザミュージアムの有効活用を

問 新ミュージアムを各小中学校の児童生徒に見学させ、学習と周知を広めることはできないか

答 校務研究会に依頼し、平成31年からは小学校社会科の地域学習の中で活用する。

問 県外から民泊受け入れの際も、新ミュージアムを有効活用すべきでないか

答 活用を検討したい。



世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム落成式テープカット



おのノボリの違法性は
雄の氏名等はないので違法
き性はなし。
幸答 氏名等はないので違法
嘉問 道路管理者の許可をも
ひらえば設置可能か
比答 道路管理者としては許
可に値しない。

読谷村議会議員選挙が平成30年9月9日に執行される。読谷村選挙管理委員会では前回の議員選の反省を踏まえ、クリーン選挙を实践すべく横断幕を村内に掲示されている。議会でも選挙委員長を招き研修会を行い、新聞紙上でクリーン選挙をアピールしている。新人候補者にはどう周知を図るか伺う

答 村議選の日程説明会及び立候補予定者説明会に於いて、選挙運動にわたる政治活動用ポスター等の掲示禁止を通知する。

問 現在、違法ノボリ等もあるか伺う

答 違法と思われるノボリを村内5ヶ所で確認。

問 何ヶ所かある「のぼり」を立てない議員らの会

第44回臨時会で喜名古窯跡整備基本計画が予算承認された。その後の進捗状況を伺う



地域への説明が必要な喜名古窯跡整備計画

答 平成28年度の基本計画では、29年度に発掘調査と基本設計、30年度実施設計、31年度用地購入等、32年度整備工事という計画でしたが地権者の住宅改修や新築の調整等があり計画が困難となったため、基本設計に至っていない。

問 進捗がない最大の要因は地域自治会への説明不足では

答 自治会長には経緯も含めてご報告に行く。

山花織の技術継承と販路拡大の施策を伺う

答 後継者育成事業においては毎年5人程度の講習を行っているながら、技術の継承に努める。

問 現在の組合員数は

11名。

問 実際の稼働人数は

把握していない。

問 稼働していない原因は

高齢化で織れない。

問 若い世代が子育てをしながら花織を続けることは

企業就職、自営業にあてはめた現況の認可保育園制度、入園規定では難しい。後継者育成講習会を受けた後も支援が必要でこのままでは後継者は育たない。技術的なものはコツコツ積み上げないと出来ない。別の職業に就職して閉ざされてしまふと、この伝統的な花織もなくなる。村、県、国の財産でもある読谷山花織の継承をどう考える

答 組合ともなげ稼働が出来ていないか、聞き取りをしながら、行政が出来ることは連携してやっていきたい。

給食調理場の今後の体系



かみ や 神 谷
か え い 嘉 栄

問 現在の調理場からどの学校へ、どれだけの数が配食されているか

答 平成30年4月現在、渡慶次給食調理場から渡慶次小・喜名小学校へ17食読谷第二給食調理場から読谷小・読谷中学校へ140食、古堅調理場から古堅小・古南小・古堅中学校へ143食を配食。

問 これからの給食調理場はどのような運営システムをとっていくか

答 給食調理場再編成後の運営システム・体系は、読谷第二給食調理場で村立全5校の小学校、読谷給食調理場で村立全2校の中学校の配食に加え、村立幼稚園の給食の検討もしている。



再編後の調理場の有効活用を！

障がい者福祉の支援状況

問 第48回定例会において福祉関係団体の活動支援についてとして、活動事務所の確保はどのようにされているかの質問だったが、読谷村障がい者（者）を守る父母の会の事務所の件は、その後どのような経緯があったか

答 平成29年12月議会後の経緯として、共同使用していた社会福祉法人が平成30年2月より撤退し、同会が単独で賃貸を行い使用している。

読谷村工芸の振興、読谷

地域コミュニティの推進について平成26年に横田自治会が増え24自治会になった。自治会が増えれば、地域振興交付金も増やすべきでは

答 平成26年度当初より、横田自治会を含めた24自治会で算定を行っている。

問 23で分けていた交付金を24で分ければ地域力が縮小しないか

答 24自治会から増えれば検討する。



なかま あさお 眞朝雄

沖縄で流行した風しんの影響と対策について

問 ①風しんはどんな病気が、
②今回どう流行したか
③感染を防ぐ手だては
④対応を時系列で問う
⑤読谷観光への影響は

答 風しんウイルスにより感染し、非常に感染力が強い。高熱、咳、発疹が主症状。重症化した場合、肺炎、中耳炎、脳炎、最悪の場合、死に至る病気。今回の流行は3月17日に台湾から来沖した男性が本島内を観光し、その間にシヨッピングモール等で空間を共有した人に感染した。県によると5月11日で99名の感染者を確認。6月11日に終息宣言。風しんは空気感染するためマスク、うがい、手洗いをしても感染する。そのためワクチン

の接種が予防の最大の手段。接種率95%で感染拡大が防げる。

問 水際対策についてどう思うか。情報は

答 潜伏期間が10〜14日程あるので難しい面がある。国、県からも聞いていない。

問 感染を防ぐ最大の手段のワクチン接種率。村内はどうか

答 村内の接種率は90%前後である。95%のワクチン接種率にならないと完全に流行を防げない。呼びかけを続けていきたい。

問 この間の行政の対応について詳しい答弁を受けているが村独自の対応策は

答 ホームページへの掲載、村内の保育所、幼稚園等、その辺への周知を徹底した。

問 本村観光への影響についての調査結果は

答 キャンセル等の人数は5千700人程度、額は1億700万程度。

問 今後、観光業界も情報の共有を図り、対策を強化していく取組みの考えは

答 観光関係業者が多数いる。観光協会もあるので、観光立村の観点からも、対策できるかどうか検討していきたい。

風しんと風疹、おたふく風邪の違いは。ワクチン接種の公的助成の拡大の考えは

答 症状は非常に似ているが風しんは感染力が強く、重篤な合併症を起こす。おたふく風邪は年長児や成人が感染発症すると重症化しやすく、合併症に髄膜炎、脳症、難聴等がある。ワクチン接種の助成はMRワクチンは全額公費負担、おたふく風邪は本村では助成していない。

問 おたふく風邪感染の病的、社会的な損失は大きく公費助成が必要と考えるかどうか

答 財政との問題もあるが、前向きに考えていきたい。



民泊の入村式



うえち りえこ 上地利枝子

交通安全対策と道路整備

問 視覚障害者誘導用ブロック破損箇所の補修を早急に行うべきだと思いがその対応について伺う

答 国道、県道、村道そして公共施設内にある視覚障害者用ブロックについては身体障害者協会に村内点検の確認をして、整備要請があれば、関係機関に要請をしていきたい。

問 スクールゾーン、シルバーゾーンの道路への表示についての考えを伺う

答 村内ではスクールゾーン表示は3カ所確認できたがシルバーゾーンの設置箇所は確認出来ません。

問 波平東門交差点の信号機設置について嘉手納警察署の見解を伺う

答 嘉手納警察署としては交通量、交通事故の発生状況周辺における道路や施設の設置計画などを分析するとともに他の対策による事故防止の可否なども考慮した上で信号機設置については検討していきたいとの回答であった。



高志保交差点の信号機前、割れて危険な点字ブロック！

基地返還後の楚辺通信所跡地利用

問 ①これまで実施した内容

答 平成18年度に「楚辺通信所跡地利用基本計画」を策定。平成22年度には旧集落地前島地区の復帰先地公共施設整備事業が採択され、平成28年度に完了。西側部分（推進地区）約30ヘクタールについては、平成22年度から26年度において、都市計画提案制度に基づく地区計画の策定に取組み、現在沖繩県と協議を行っている。

問 ②今後の事業展開

答 現在協議中の推進地区の地区計画が、都市計画決定されると、道路敷地の分筆及び譲渡登記の各土地の境界復元を行い、地区計画に示された地区施設（道路公園等）を長期的に整備する予定である。

問 ③課題地区の今後の事業展開

答 平成29年度に「楚辺通信所跡地課題地区跡地利用基本調査業務」を実施しており地権者への勉強会やアンケートなどを実施した。具体的な土地利用計画決定には至っていない。今後課題地区地権者による地主会の設立も予定されているので継続して地主会とともに跡地利用推進に向けて取り組んでいきたい。

旧読谷中学校跡地の活用（運動場側）

問 波平、上地地区の健康づくりの拠点としてソフトボール場、児童公園、ゲートボール場や防災広場等地域のコミュニティの場として整備出来ないか

答 基本売却等による跡地利用を図る予定である。現在、校舎側の跡地利用に取り組んでいる段階であり具体的な利用方針には至っていない。

泊城公園の遊具から



ながはま むねのり 長濱 宗則

問 親子で賑わう泊城公園のローラー滑り台にロープが張られ使用禁止されていますがその理由といつ頃からか

答 平成29年2月から閉鎖している。その理由は老朽化が著しく、修繕部品が調達できないため。



ローラー滑り台

比謝横断線の進捗状況は

問 読谷村道路整備事業として位置づけは

答 防衛事業としてめどがあり、優先順位を上げて整備していきたい。

問 この路線の課題は

答 住宅密集地であることから、用地・物件等の対象物件数が多く、所有者関係の合意形成が必要条件となる。

問 この事業のタイムスケジュールは
答 本年度に概略予備設計

を行い、平成31年度から32年にかけて地権者の合意形成及び関係課、関係機関との協議を行い、平成33年度の事業採択に向けて取り組んでいきたい。

読谷村の公有財産から

問 29年の賃貸料の6億1,34万04円で99%をトリイ基地、嘉手納弾薬地区が占めている。毎年価格の見直しはあるか

答 価格については沖繩防衛局の単価改定による。

問 村有地の賃貸料と契約期間は適性と考えているか

答 賃貸料については、基本的に対象物件ごとに不動産鑑定や固定資産税路線価格等を用いて時価額を算出した後に読谷村財産価格検討委員会で審議し決定している。契約期間につきましては、読谷村財務規則に基づいて設定している。

行政地域設定から3年経ちましたが、変わらぬ行政改善に今後どう取り組むか

問 地域振興交付金の算定基礎があまりまいと考えるがその根拠は示されているか
答 基本交付額、地域振興交付額、加算交付額、の3項目をもとに、小項目に人口、世帯数を基本にし、老人会、青年会、婦人会、子ども会等の活動状況、伝統芸能の保存、継承活動、自治会世帯数、人口の増加数等を考慮して積算している。

問 行政加入率が減少していく中で厳しい運営に当たる自治会への対策は

答 各自治会との意見交換を重ね連携し加入促進に取り組んでいきたい。

問 二重構造と言われている行政地域の改善の取り組みをどう

答 重点施策として位置付けて取り組む。



やまうち まさのり
山内 政徳

うがいいと思います。

をしていきたい。

問 コミュニティバスの嘉手納高校前までの運行について

答 放課後児童クラブについてどのような計画を持っているか

問 前の嘉手納高校前につながる虎地原線の話がまだ設計を行い、次年度建設工事を行う計画でございませ

答 今年度は、喜名小学校敷地内の設置に向けて実施設計を行い、次年度建設工

問 安心安全なまちづくりのために、子ども達の安全のために通学路に防犯カメラを設置しては

答 虎地原線は幹線道路の中の13の中で9番目という位置づけにしかなっていません。話はまだしていませんので、コミュニティバス、通学路関係、そういった話

問 設備も古い、人に貸すには無理だとそういう家を、200万円ぐらいで改装して高齢者とか低所得者、子育て最中の方とかが入ってもら

問 設備も古い、人に貸すには無理だとそういう家を、200万円ぐらいで改装して高齢者とか低所得者、子育て最中の方とかが入ってもら

問 他自治体の調査状況と必要性、財源等、現在の検討状況はどうか

答 海上案のルート案で調整は入っているとの事。終点の町道の取り扱いの事で国道側と協議をこれまで行

答 プラバシーの件とか、いろいろな課題も協議をする必要がありますが、犯罪抑止力からするとあつたほ

答 虎地原線は幹線道路の中の13の中で9番目という位置づけにしかなっていません。話はまだしていませんので、コミュニティバス、通学路関係、そういった話

問 今年度は、喜名小学校敷地内の設置に向けて実施設計を行い、次年度建設工事を行う計画でございませ

答 今年度は、喜名小学校敷地内の設置に向けて実施設計を行い、次年度建設工

問 設備も古い、人に貸すには無理だとそういう家を、200万円ぐらいで改装して高齢者とか低所得者、子育て最中の方とかが入ってもら

問 読谷村のほうからも、国に対して嘉手納町が納得する様な案を進言する等、可能な限り協力して頑張っ

問 読谷村も次のステップに行けるような調査研究はしていききたい。

答 読谷村も次のステップに行けるような調査研究はしていききたい。

問 残波岬に向う途中の道路管理について草が道路にはみだしているが

答 民間も巻き込みながら、少しずつ減らしていきたい。

問 財源の議論まではまだ進んでないのか

答 今後、学校の大きな事業が向こう10年位まで入ってくる。保健センターについては詳細、体制、村民の健康づくりへの寄与等、もう少し具体的に見えた上で建物の規模、あるいは既存の施設の再利用とか、色々な議論が出てくると思います。それを踏まえて方向性を出

問 新たな住宅セーフティネット法について昨年四月に成立した制度の内容を伺う

答 一、住宅確保要配慮者向け賃貸住宅の登録制度です。二、登録住宅の改修・入居への経済支援です。三、住宅確保要配慮者(低額所得者

問 残波岬に向う途中の道路管理について草が道路にはみだしているが

答 民間も巻き込みながら、少しずつ減らしていきたい。

問 財源の議論まではまだ進んでないのか

答 今後、学校の大きな事業が向こう10年位まで入ってくる。保健センターについては詳細、体制、村民の健康づくりへの寄与等、もう少し具体的に見えた上で建物の規模、あるいは既存の施設の再利用とか、色々な議論が出てくると思います。それを踏まえて方向性を出

問 民間も巻き込みながら、少しずつ減らしていきたい。

答 民間も巻き込みながら、少しずつ減らしていきたい。

問 財源の議論まではまだ進んでないのか

答 今後、学校の大きな事業が向こう10年位まで入ってくる。保健センターについては詳細、体制、村民の健康づくりへの寄与等、もう少し具体的に見えた上で建物の規模、あるいは既存の施設の再利用とか、色々な議論が出てくると思います。それを踏まえて方向性を出

問 読谷村のほうからも、国に対して嘉手納町が納得する様な案を進言する等、可能な限り協力して頑張っ

問 これまでの主な事業の例示とその意義は、また、村民としての誇り、地域コミュニティの源泉にもなっている伝統文化の継承・発展のために今後、どの様な事業を展開していくのか

問 これまでの主な事業の例示とその意義は、また、村民としての誇り、地域コミュニティの源泉にもなっている伝統文化の継承・発展のために今後、どの様な事業を展開していくのか

答 これまでの主な事業の例示とその意義は、また、村民としての誇り、地域コミュニティの源泉にもなっている伝統文化の継承・発展のために今後、どの様な事業を展開していくのか

問 これまでの主な事業の例示とその意義は、また、村民としての誇り、地域コミュニティの源泉にもなっている伝統文化の継承・発展のために今後、どの様な事業を展開していくのか

答 これまでの主な事業の例示とその意義は、また、村民としての誇り、地域コミュニティの源泉にもなっている伝統文化の継承・発展のために今後、どの様な事業を展開していくのか

問 これまでの主な事業の例示とその意義は、また、村民としての誇り、地域コミュニティの源泉にもなっている伝統文化の継承・発展のために今後、どの様な事業を展開していくのか

答 これまでの主な事業の例示とその意義は、また、村民としての誇り、地域コミュニティの源泉にもなっている伝統文化の継承・発展のために今後、どの様な事業を展開していくのか



犯罪抑止力が期待される防犯カメラ



いしんぶ
伊 眞武

していききたい。

問 進捗状況と課題は

問 進捗状況と課題は

答 海上案のルート案で調整は入っているとの事。終点の町道の取り扱いの事で国道側と協議をこれまで行

問 進捗状況と課題は

答 海上案のルート案で調整は入っているとの事。終点の町道の取り扱いの事で国道側と協議をこれまで行

問 進捗状況と課題は

答 海上案のルート案で調整は入っているとの事。終点の町道の取り扱いの事で国道側と協議をこれまで行

問 進捗状況と課題は

答 海上案のルート案で調整は入っているとの事。終点の町道の取り扱いの事で国道側と協議をこれまで行

問 進捗状況と課題は

答 海上案のルート案で調整は入っているとの事。終点の町道の取り扱いの事で国道側と協議をこれまで行

問 進捗状況と課題は

答 海上案のルート案で調整は入っているとの事。終点の町道の取り扱いの事で国道側と協議をこれまで行

問 進捗状況と課題は

答 海上案のルート案で調整は入っているとの事。終点の町道の取り扱いの事で国道側と協議をこれまで行

問 進捗状況と課題は

答 海上案のルート案で調整は入っているとの事。終点の町道の取り扱いの事で国道側と協議をこれまで行





とうま 良史 当間 良史

子ども会活動が地域の未来

問 村内で活動する子ども会・育成会の数は

答 24自治体中21の自治体で活動中。

問 その中で読子連（読谷村子ども会育成連絡協議会）に加入している自治会の数と活動は

答 21自治体中10の会が参加し、岐阜県白川村と読谷村子ども会交流事業や読子連まつり、青年エイサーまつりでの子どもエイサーなどがある。

問 自治会の加入が減少傾向にある中どのように地域コミュニティを盛り上げていくのかが一番の課題と考



岐阜県白川村の子供たちとの交流

える。そこで地域の子供たちが公民館で集える環境が必要であり、子供たちの活気が今後の自治会の原動力となつていくと考えるが

答 子供の頃から公民館で活動することは、地域の人を知ることが出来、また地域を知り、地元に着が持てると思う。その活動が青年会、体協なり婦人会なりにつながるものである。今後読子連と一緒に地域の皆さまと話し合つていきたい。

更生保護司について

問 保護司が対象者と面談する際、面談者が人目を気にせず面談できる場所が必要である

答 面談場所については庁舎内の相談所を考えてあるが、人目が気になるようであれば今後検討していく。

問 永年地域に貢献し勇退された保護司に対し村の功勞者として表彰できないか

答 村の表彰条例では保護司への表彰規定はされておらず難しいと考える。

問 保護司のほとんどが、対象者を考慮し身分を隠して活動されている。そのように永年地域を陰から支えてきた保護司に対し表彰を行うべきではないか

答 現在表彰条例通りに行つていますが保護司も含め表彰に値するものがないか勉強していく。

スケートパーク場の整備決定！

問 これまで何度か質問してきたスケートパーク場整備の進捗状況は

答 平成31年度に実施設計を行う予定であり設置場所などの課題について関係課と調整している。

問 設置の場所が重要だが

答 村民センター地区（役場周辺）ロードパーク予定地内に設置できないかと考えている。

問 村民待望の施設であり村民も交えてパークづくりを考えて欲しい

答 整備にあたり近隣の状況を参考に愛好者の方々の意見も取り入れていきたいと思う。



よなは のりお 與那覇 徳雄

一時的保育事業について

問 27年から29年度までの実施施設と利用児童数は

答 6施設、27年利用者延数5,484人、28年延数5,281人、29年延数3,593人。

問 30年度事業実施施設は読谷保育所・南保育所・喜名保育園の3施設。

問 平成30年度の一時的保育申請者は何名か

答 5月現在申請者107人。

問 一時保育や緊急時の保育等、事業実施は保育需要に対応できているか

答 今年度3施設実施のため保育需要に対応できていない。

問 一時的保育の対象児は6ヶ月から5歳児。

問 1園で受け入れる児数は

答 概ね5名である。乳児を預かると5名は厳しい乳児3に対し1保育士が国基準。

問 28年と29年利用者で、1,688人減少している要因は

答 29年度3認可保育園増設で保育入所ができたことで、一時的保育が減少したと認識

問 実施施設が6カ所から3カ所に縮小した理由は

答 待機児童解消の対策として、必要性の高い保育児、低年齢児や特別支援の入所に保育士の数が必要。今年度、待機児童の解消を優先。保育士の確保が出来ない現状から一時的保育の実施は厳しい、やむを得ず3施設に減らした。

問 保育士の確保について抜本的な施策が必要だが

答 どの市町村も苦勞している、保育士の質を上げ待遇改善も含めて確保していく持続的な対策が必要。



村文化財について

問 艦砲め喰えー残さーの歌碑」「さとうきび畑の歌碑」「チビチリガマ」「恨の碑」巡るコースを設定し、活用しては

答 有料ガイドを依頼する利用者が見学コースを設定。

問 「平和ガイド」の養成講座等を開設する考えは

答 ガイド活動の充実も含め活動されているガイドの組織の方と意見交換を行い、講座を進めたい。

問 3 歌碑を新採用職員・新任教職員研修に活用しては

答 歴史的・文化的な場所として、新職員に碑も紹介していきたい。

問 「恨の碑」を歴史の真実を伝える場所として平和活動の取り組みが出来ないか

答 「恨の碑」は関係機関と連携し検討していきたい。



瀬名波にある「恨の碑」モニュメント

スポーツ振興について

問 スポーツ推進委員独自の事業は

答 ニュースポーツの紹介ウォーキング大会等実施。

問 児童スポーツクラブ等の推進は

答 どの様な支援が必要か関係団体等と話し合います。

問 村民に定着したニュースポーツは

答 定着まではしていない。

問 地域公民館でのスポーツ事業等に協力したことは

答 公民館はないが、婦人会から講師派遣依頼がある。



しろま 城間 いさむ 勇

第二次世界大戦 米軍沖縄本島上陸拠点之碑建立

問 一括交付金を活用して上陸の拠点となった渡具知海岸、西又浜一帯、泊城公園の入り口パーベキュー施設広場入り口周辺等に新しく建立することは意義があると思うが

答 新設の第二次世界大戦米軍沖縄本島上陸拠点之碑の建立については、現在のところ計画はない。50周年記念事業で建立、その碑の中の写真がアングルの上陸のあのときの写真と、今現状の写真が見比べられる案内板を増設したい。

大添地域の崩落防止対策について

問 大添地域の崖に沖縄県が防災対策をしているフェンスネットの間からガジュマル等の樹木が茂っており、台風や大雨時の崩落や落石等が懸念される。樹木の伐採が必要

答 引き続き自治会長及び関係者、関係機関等と調整したい。

問 崩落防止対策がされていない未整備箇所がある。県に整備要請を

答 自治会長を通して地権者の同意が得られるのか確認をし、中部土木事務所と調整したい。

問 ミサワ地域の背後地の崖地、きれいに伐採されているが、どこが実施したのか

答 村有地となっておりますので定期的に村のほうで保全清掃活動をやっている。

問 大添きのご公園の樹木伐採等や落石防止対策の取り組み

答 樹木の伐採は、今年度実施する。落石防止柵は次年度以降工事を行う予定。

牧原多目的広場の整備

問 整備に向けての進捗状況、具体的な規模や計画概要

用地取得の取り組みについて

答 平成30年2月に課題整理するために、牧原地区土地利用基本調査が実施されており、具体的な規模や計画概要については今後、牧原区と財源等を含め協議をしていく。用地については旧集落に位置するゴルフ場開発に伴う里道付け替えにより確保することになっている。

問 慰霊之塔の建立、牧原自治会の九死に一生を得た先輩の皆さんは、去った大戦で亡くなった方々約50名の御霊、ぜひ自分たちが生きている間にそこで慰霊祭ができるよう強い声があるが

答 戦後73年を経て、ほとんどの集落が慰霊碑を建立していますので、牧原の皆さんとも相談していきたい。



大添地域の崩落防止対策が急がれる！



吉 和 雅 和
よしかず まさかず

石嶺村長に道路行政について問う

問 村道比謝横断線事業費約60億円は米軍トリイ通信施設設備と関連した交通事情による事業であるので、全額国負担を求めるときと考えるが

答 沖縄防衛局へ直轄事業での要求を何度か行つたが実現に至っていない。
問 当該事業は村道中央残波線の補助率80%以上を確保すべきだが

答 防衛事業の高率補助での事業採択に向けて取り組む。
村道中央残波線の北進(残波方向)

答 県道6号線における慢性的な交通渋滞やレンタカー等による交通事故等のトラブルが増加している状況は、沖縄県における観光振興等の障害にもなり、提案の内



中央残波線の北進(残波岬方向)

容等を含め沖縄県へ要請する。

いくよう努める。

3300万円で4施設のネーミングライツ(命名権)を求める。

答 ボールパーク・陸上競技場・野球場・パークゴルフ場のネーミングライツを公募し、施設に名前をつけて買っていたきたい。

子ども・子育て支援について

沖縄読谷道路構想(中央残波線伊良皆北交差点とうるま市を結ぶ)

答 計画ルートが米軍用地内にあり軍用地の返還計画が見込めない状況でも、国や県が策定道路に関する計画へ本路線を位置付けするよう要請等を行っている。

スポーツコンベンション事業の経済効果の数値化

答 経済効果の算出方法を検討しているところであり、村民に対し告知・公表して

今年9月には沖縄県第87回全国民生委員児童委員大会開催

問 沖縄県の充足率は86.4%であるが村の充足率は100%である、その要因は

答 活動の本旨は「地域活動」であり、24自治会を主体とした自治会活動・村民意識が合致していることが100%充足率になっている。

問 民児協から行政・村民への要望や課題は

答 個人情報取扱いと相談を受けた際に、どこに適切につなぐかの判断及び知識としての行政サービス等の説明及び勉強会の実施。

中学生海外ホームステイ派遣事業はシアトルからオーストラリアへ変更

答 費用の減額と村内在住の中学生へと変更したことにより、定員より多い応募がありました。

都屋漁港内の「アカター崎」整備構想

答 中部土木事務所による平成31年度に予算要求し、平成32年度から36年度で整備をしていきたい。



徳 栄 知 花
とくえい ちかはな

行政区設定後の状況

問 平成29年度までの自治会加入状況は

答 全体的に加入者数が減少している。

問 自治会によっては増・横ばいの自治会もあると思うがどうか

答 増加している自治会が6ヶ所で横ばいの所が5ヶ所

問 大湾東の人口増が見込まれるが行政区は

答 周辺自治会と検討していく。

問 自治会加入率が下がることによる問題は

答 自治会の地域活動に影響

響を及ぼし、村づくり等諸活動に影響がある。

問 行政区単位でこれまでのような事業が行なわれ

答 行政事務委託事業・防災活動・ゆいまーる共生事業・地域支え合い事業などを行っている。

問 自主防災組織を今後設立予定の所もあるか

答 伊良皆、横田、瀬名波自治会が取り込み中。

問 地域支え合い事業については12地域で活動中と思うが他地域の計画は

答 今年度で残りの全自治会を目標に取り組む

問 自治会加入促進につながるためにどのような方が考えられるか

答 住民年金課で住居転入の時のチラシを配布している。今後、チラシに区割の地図

も検討していく。村民への周知が不十分な点は定期的
に知らせる。

要望 「自治会が加入促進月間」を設け横断幕、広報、FM等を利用して運動を展開してはどうかと思う

問 自治会が加入促進の一つとして行政区単位での清掃や植樹等のイベントを実施する考えはないか

答 避難訓練のみではなく避難経路の樹木剪定、草刈り作業等が考えられる。イベントについては各自治会と連携して取り組む。

問 区の事業を遂行するための対策委員会設置と助成策について何う

答 ゆたさむらビジョンの重点施策として位置づけて取り組む。

問 全国的に地域コミュニティづくりが課題になっている今日、本村の村づくりの拠点になっている自治

会運営について副村長はどう評価するか

答 自治会活動は伝統芸能とか自らの地域文化と結びつき協働への心意気が健在である。このような活動の連合が村行政を大きく支えていると評価。

問 村長に何う。平成26年度から人口増にあるが、地域振興交付金、行政事務委託事業費を見直す時期にあると思うが

答 各自治会を活性化させるということで振興交付金を含めゆたさむらビジョンの計画をもってその財政措置もやっていく。



ゆいまーる共生事業のようす

意見書・抗議決議

第473回

米軍嘉手納基地所属F-15戦闘機の墜落事故に対する意見書

可決

平成30年6月11日午前6時過ぎ、嘉手納基地所属のF-15イーグル戦闘機が沖縄本島南方の沖合約80キロの海上に墜落する事故が発生した。

米軍は事故後、「今後、調査委員会が事故発生までの事実関係と事故原因を究明し、安全確保を見直す間、一時的にF-15戦闘機の訓練飛行を中止する」と発表した。しかしながら、「安全点検が完了したため飛行再開する」との一方的な発表がなされ、また、日本政府もこのことを追認している。そして、事故発生からわずか2日後にF-15戦闘機の飛行訓練を再開させたことに強い憤りを覚える。軍事訓練を優先する日米両政府に対し村民の怒りは頂点に達している。

本村議会は、相次いで発生した米軍機による事故に対して再発防止や米軍機の安全管理の徹底等の抗議決議をこれまで再三にわたりおこなってきたが、徹底的な墜落原因究明をおこなわず、完全なる安全確保ができないまま、すぐに飛行を再開し、村民の生命と財産をないがしろにする米軍の一方的な行動は、決して許されるものではない。

よって、読谷村議会は村民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、F-15戦闘機の墜落事故に対し嚴重に抗議するとともに、下記事項を速やかに実現するよう強く要請する。

記

1. 完全なる安全性が確保されるまでF-15戦闘機の飛行訓練を一切中止すること。
2. 事故原因を徹底究明し、実効性のある再発防止策を講ずること。
3. すべての航空機の住民居住地上空での飛行訓練を禁止すること。

平成30年6月20日

沖縄県中頭郡読谷村議会

祝 叙勲受章祝賀会

読谷村では、7月24日に平成30年度叙勲受章祝賀会が開催され9名の方が受章されました。これは、国家または社会に対する功労者を対象者に、国が旭日章または瑞宝章のいずれかを毎年春と秋に授与する栄典のひとつです。叙勲のうち「旭日章（きよくし）」は顕著な功績を上げた人に、「瑞宝章（ずいほうしょう）」は公共的業務に長年従事してきた人に贈られます。受章されたのは

- (故) 比嘉 蕃 信 旭日章 (きよくし) たんこうしょう
- (故) 金城 松 栄 瑞宝中綬章 (ずいほうちゆうじゆしょう)
- (故) 與久田 清 瑞宝双光章 (ずいほうそうこうしょう)
- (故) 伊波 清 安 瑞宝双光章
- (故) 東江 則 子 瑞宝双光章
- 新垣 盛 雄 瑞宝单光章 (ずいほうたんこうしょう)
- 我那覇 英 則 瑞宝单光章
- 當 眞 嗣 森 瑞宝单光章
- 澤 岬 政 夫 瑞宝单光章

今回の受章者には元村議会議員の(故)比嘉蕃信氏が旭日章(地方自治功労)を受章されました。氏は昭和57年から平成6年まで通算3期12年の長きにわたり読谷村議会議員として在職し村政に参画されました。(故)金城松栄氏は、昭和34年3月に琉球大学文理学部数学科を卒業後恩納村立山田中学校の数学教師を経験したのち昭和47年5月に琉球大学教育学部に採用され後継者育成に貢献された。(故)與久田清氏は、昭和25年5月に読谷村古堅中学校教員補に任ぜられ、終戦後のかやぶき校舎の建て替えや、教員・教員の作成に励まれた。その後、与勝中学校教頭、「コザ中学校教頭を経て、古堅南小学校校長を勤められた。(故)伊波清安氏は、昭和33年4月に琉球政府立中部農林高等学校に採用され、その後、渡慶次小学校、嘉手納中学校、読谷中学校、古堅中学校を歴任し恩納村立山田小学校校長を勤められた。(故)東江則子氏は、昭和23年3月平安座初等学校教員補に任ぜられ教育生活の第一歩を踏み出し、与那城小学校、北中城小学校などを歴任し、喜瀬武原小学校の校長を勤められた。新垣盛雄氏は、昭和41年5月に七級警察職(巡査)を拝命し、沖縄県警視まで昇任され、35年余の長きにわたり公共の安全と秩序の維持に尽力されました。我那覇秀則氏は、昭和43年9月に七級警察職を拝命し、警部まで昇任され、38年余の長きにわたり地域の安全と秩序の維持に貢献されました。當眞嗣森氏は、昭和47年6月に沖縄県巡査長を拝

祝 叙勲受章祝賀会



(故)伊波 清安 (故)與久田 清

(故)金城 松栄 (故)比嘉 蕃信

澤 岬 政夫

(故)東江 則子

當 眞 嗣 森

新垣 盛 雄

我那覇 英 則

命し、警部補まで昇任され、34年の長きにわたり生活安全部少年課職員として地域に貢献されました。澤岬政夫氏は、昭和41年に七級警察職を拝命し、沖縄県警部まで昇任され、37年余にわたり公共の安全はもちろんの事、刑事警察部門において活躍されました。

りっかりっか読谷村議会

6月定例会での傍聴者は、延べ36名でした。

平成30年9月定例議会は9月28日(金)からの予定です。

◎議会の日程についてホームページでお知らせしております◎

読谷村公式ホームページアドレス

<http://www.yomitan.jp>

〈お問い合わせ〉

議会事務局 TEL 098-982-9225